

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月18日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901936		
法人名	医療法人社団 旭豊会		
事業所名	グループホーム ライラック		
所在地	北海道旭川市永山4条6丁目2番2号 (電話) 0166-40-3880		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年9月11日	評価確定日	平成20年9月24日

【情報提供票より】(平成20年5月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年11月10日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 8人, 非常勤 13人, 常勤換算	12人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	24,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無		有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり			1,300 円

(4) 利用者の概要(5月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	4 名	要介護2	6 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2			
年齢	平均 82.2 歳	最低	69 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川三愛病院、永山歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

北海道内でも数少ないISO9001(品質マネジメントシステム)の国際標準規格認証事業所で母体医療法人を中核としたグループホームです。従前より、サービス委員会で第三者である居宅介護支援事業所の介護支援専門員による聞き取りの利用者・家族アンケートを独自に実施し、顧客満足度の測定・分析で改善点を見出しケアサービスの質の向上に利用すると共に理念達成の為に目標設定が明文化されて、その達成度も進捗管理されています。また、地域とのかかわりも屯田まつりや花火大会などの参加や莓狩りや工場見学などの外出行事を通じて地元の人々との交流も盛んに行われていたり、地域の同業者との相互訪問や見学を通じた交流も実施されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、同業者と相互訪問を通じた交流がさらに増えサービスの向上に活かされることが改善点として挙げられていましたが、包括支援センターとの協働で地域の同業者との相互訪問や交流、研修会、情報交換が積極的に取り組まれていることが確認できました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者、職員が参加して自己評価を実施し、評価を通じてケアサービスの改善点を見出しています。また、外部評価の結果については、運営推進会議等で報告されそこでの意見が運営に反映される取り組みが実施されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在2回実施されています。議題は 焼肉交流会の実施について 地域の人達との交流について 利用者の日常生活の様子について 介護老人保健施設の利用方法について 地域が必要としている情報提供について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) サービス委員会による法人独自の利用者、家族アンケートを実施して、意見や苦情、不安な点など表せる機会を作り、そこでの意見を改善点として見出し運営に反映させてその取り組み内容についても結果報告されています。また、日常生活の様子、受診状況や内容、ホーム行事予定など毎月利用者個々に応じた便りで情報提供されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 法人主催の「祭り」の実施で、家族や地域住民が多数参加して交流が行われたり、地域の盆踊りや花火大会参加、歌謡やマジックショーなどのボランティアの受け入れ等日常生活を通じて地域との連携が行われています。また、地域が必要としている情報を把握して介護教室や介護相談など実施され取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に密着した法人独自の理念を作り、全ての職員に共有されている。また、理念を実現するための具体的な目標管理が行われている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念達成のための具体的な目標を掲げ、目標の進捗管理を実践している。		特筆すべき点として、北海道内でも数少ないISO9001(品質マネジメントシステム)の国際標準規格認証事業所でP-D-C-Aサイクルが機能している。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	法人主催の「祭り」の実施で、家族や地域住民が多数参加して交流が行われたり、地域の盆踊りや花火大会参加、ボランティアの受け入れ等日常生活を通じて地域との連携が行われている。また、地域が必要としている情報を把握して介護相談を実施され取り組まれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員が参加して自己評価を実施し、評価を通じてケアサービスの改善点を見出している。また、外部評価の結果については、運営推進会議等で報告されそこの意見が運営に反映される取り組みが実施されている。		特筆すべき点として、法人での独自の内部監査が実施されケアサービスの質の向上に活かされている。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、本年度 評価日現在2回実施されている。運営推進委員は、利用者、家族、町内会役員、民生委員、法人内在宅介護支援センターの介護支援専門員、管理者・職員で構成され具体的な活動に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、地域住民も参加した取り組みも行われているので、議事録を残されることに期待します。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>旭川市主催の研修会参加や包括支援センターとの連携で地区内の同業者との相互訪問や情報交換など行われケアサービスの質の向上に活かされている。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日常生活の様子、受診状況や内容、ホーム行事予定、職員の紹介など毎月利用者個々に応じた便りで情報提供されている。また、金銭管理については毎月報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>サービス委員会による法人独自の利用者、家族アンケートを実施して、意見や苦情、不安な点など表せる機会を作り、そこでの意見を改善点として見出し運営に反映させている。また、その取り組み内容についても結果報告されている。</p>		<p>特筆すべき点として、サービス委員会で第三者である居宅介護支援事業所の介護支援専門員による聞き取りの利用者・家族アンケートを独自に実施している。他にあまり例を見ない取り組みです。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低く、継続して安定したケアサービスが行われている。また、職員の年間研修計画が立案されて実施されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>品質マネジメントシステム（ISO9001:2000）で計画された、内部・外部の研修が実施され、その有効性が評価され個々の職員の力量が把握されて次年度の計画に反映されている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>包括支援センターとの協働で地域の同業者との相互訪問や交流、研修会、情報交換が積極的に取り組まれている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族とのコミュニケーションやホームの見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員と一緒に食事の準備や畑で個々に茄子やトマト、さつまいも、ピーナッツなどの好みの野菜作りなどが行われ、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>認知症ケアで有効とされるセンター方式で、個々の生活歴が把握され、本人の希望や思いを尊重して習字や将棋、カラオケ、生け花などの趣味への支援や葛狩りや地域の行事への参加、スーパーでの買物など行われている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとにアセスメントに基づき、本人の意向や家族と相談しながら利用者本位の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて定期的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院や往診の医療連携が行われ支援されている。また、学習療法の取り組みや訪問マッサージや理美容、散歩や買物、ドライブなど支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護師、かかりつけ医、母体医療法人との連携が24時間体制で行われ職員や家族の安心感と信頼感が広がっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、母体医療法人と連携して方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの保護やコンプライアンス遵守の体制が整っている。また、守秘事項や個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切にして、尊厳やドライブ、スーパーでの買物や畑での野菜づくりなどへの支援や学習療法やホーム行事への支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、アンケート調査を実施して嗜好を把握したり、職員と一緒に楽しく調理や食事の準備などを行っている。また、気分転換のために野外での焼肉やラーメンなどの外食も行われている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、週2回を目安に一人ひとりの希望やタイミングに応じて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	居室や廊下の掃除、洗濯物たたみ、畑で個々の好きな野菜の栽培や時にはホームで栽培された大豆で豆腐作りなど楽しみごとや気晴らしの機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	町内の散歩やスーパーでの買い物、苺狩りやドライブなど戸外にでかけられるように支援されている。また、地域の人達や家族も参加できるように焼肉パーティーの案内なども行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	法人及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、玄関・居室は、日中鍵をかけていない。また、利用者が外出する時は、玄関に鈴を付け見守りが行われている。		特筆すべき点として、安全対策として「行方不明対策マニュアル」を作り、職員の研修を実践している。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>運営推進会議で緊急時のホームの取り組みについて報告が行われ意見交換されている。また、防火管理者が配置され、火災避難訓練や救急救命訓練が実施されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分・食事の摂取量が具体的数値で記録されている。また、栄養バランスやカロリーについて法人内で研究発表をするなど、日頃より取り組みが行われている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられず、花や観葉植物が飾られ清潔感が漂っていると共に家庭的雰囲気有している。中庭では、日光浴を楽しむことができたり、畑では個々にトマトや茄子など好みの野菜を栽培するなど季節感を味わえる工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、仏壇やテレビ・冷蔵庫などの使い慣れた家具が持ち込まれていたり、観葉植物や手作りの作品、家族の写真などが飾られ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。